

ふるまぎ里山ミュージアムのご提案

私たちは、農業によって長年この地域を守ってきた地元の皆さんと共に力を合わせて、この構想を実現したいと思っています。
ふるまぎ里山ミュージアムを実現させる会



できること：虫取り・自然散策・市民農園・農業体験・森林整備ボランティア・環境教育やアートイベントなどの日常・非日常利用など

田んぼと雑木林があってそこに生命の営みがある場
里山そのままをミュージアムのように味わう場
使いながら受け継いでいく場



ふるまぎ里山ミュージアム
を実現させる会
ホームページ

令和8年1月13日
みどりの委員 樫 聡

議題2 ふるまぎ里山ミュージアム(仮称)について

1. ふるまぎ里山ミュージアム構想の再説明
2. その後の進捗状況
3. 湧水と湿地保全の提案
4. 現地における基礎調査 (みどりの課より説明)

1. ふるまぎ里山ミュージアム構想の再説明

流山に残された最後の里山



※エリアについては今後詳細な吟味が必要です。上図では、流山市の「保全配慮地区」のうち市街化調整区域のエリアを図示しています。

1. ふるまぎ里山ミュージアム構想の再説明

里山の構成



雑木林(平地林+斜面林)

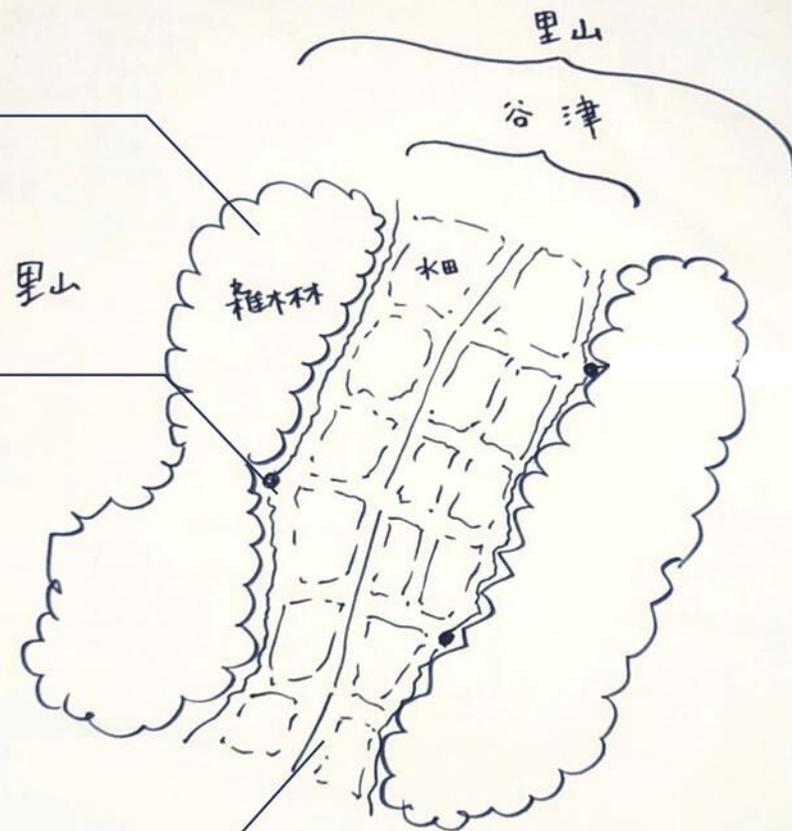


湧水(湿地帯)



谷津(水田)

地形



人々の営み



多様な生物

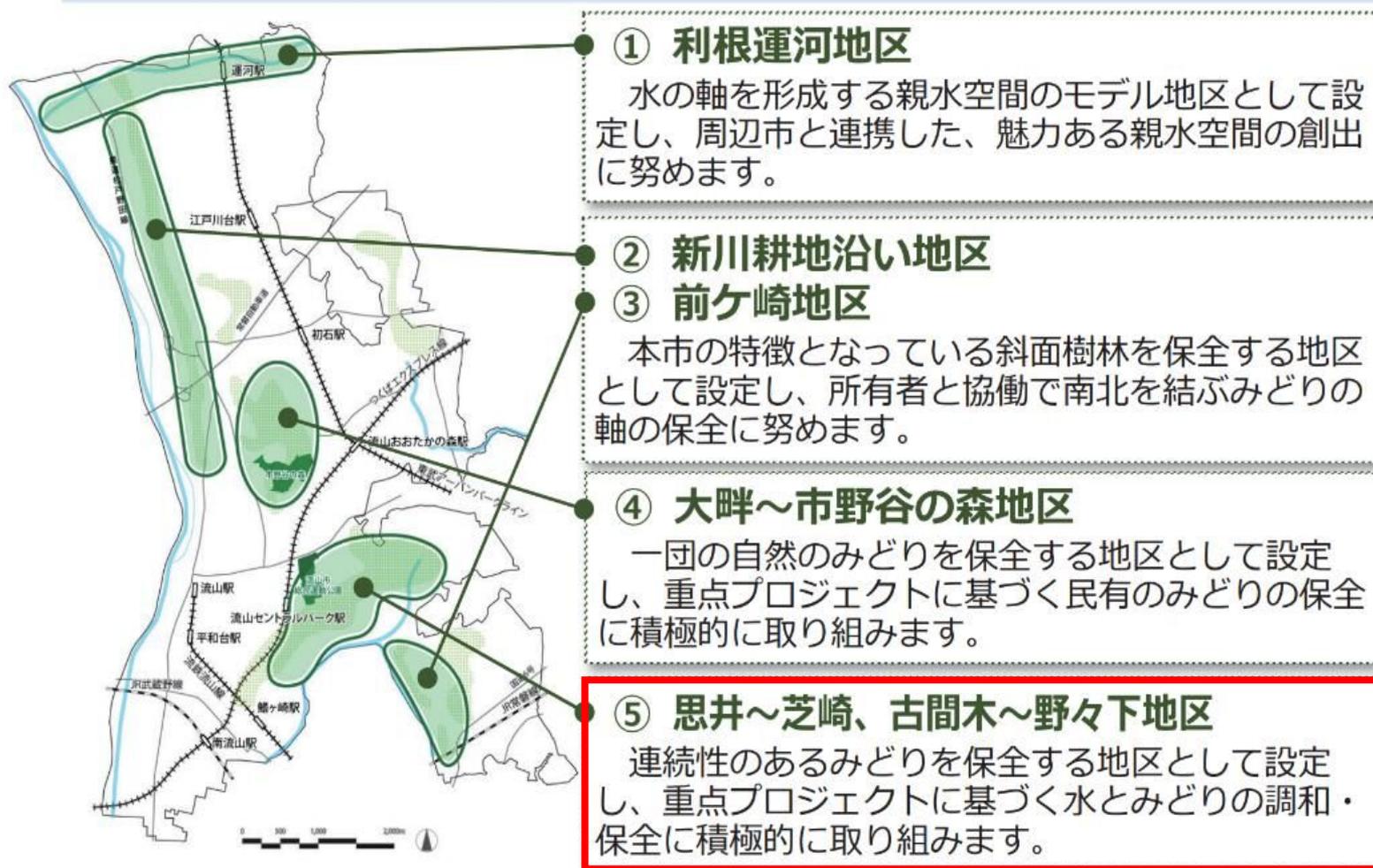


原風景

そこで育まれる生命の営み

1. ふるまぎ里山ミュージアム構想の再説明

流山市みどりの基本計画(R2) 保全配慮地区



1. ふるまぎ里山ミュージアム構想の再説明

流山市みどりの基本計画(R2) 重点プロジェクト

重点 3

思井～芝崎地区、古間木～野々下地区の連続性のあるみどりの保全プロジェクト

思井～芝崎地区、古間木～野々下地区のみどりを連続性のあるみどりとして一体的に残し、本市の特徴的なみどりとして保全します。

- ・水辺に近い特徴を生かし、多様な生物が生息する自然のみどりを維持するとともに、生物の観察やふれあいができる親しみあるみどりとして保全していきます。
- ・特別緑地保全地区の指定や市民緑地制度の活用等、状況に応じた手法や制度の活用により、未来にわたり保全を図ります。

<実施期間>

	短期	中期	長期
思井～芝崎			
古間木～野々下			



思井～芝崎地区からつくば方面を望む

関連する個別施策

- 1-2-① みどりの実態調査
- 1-2-② 民有のみどりの保全
- 1-2-③ 市内の拠点となるみどりの保全

1. ふるまぎ里山ミュージアム構想の再説明

生物多様性ながれやま戦略 重点地区

重点地区・拠点と重点プロジェクト

生物多様性ながれやま戦略では、生物多様性の保全・回復を優先的に取組む『重点地区・拠点』を選出し、取組や活動を進めるための重点プロジェクトを基本方針毎に設定しています。

重点地区・拠点について

本戦略では、下記の5地区13拠点を重点地区・拠点に定めます。



重点プロジェクト

基本方針A 生物多様性の保全・回復

- モニタリングのデータ収集・分析・評価
2023(1135)年度までにモニタリング調査結果をまとめ、評価します。
- モニタリング調査の評価結果に基づく活用
Iで評価した内容を元に、活用方法を検討し、次の戦略見直し等に反映します。
- モニタリング調査及び里山ボランティア講座の開催
モニタリング調査員や里山ボランティア養成講座を開催します。
- 里山における県や関係諸団体との連携
県や市民団体などと協働・協力するとともに、市の施策への協力を求めます。
- 河川における国や千葉県、流域自治体との連携
手賀沼水環境保全協議会や利根運河協議会などと協働・協力するとともに市の施策への協力を求めます。
- 生活排水対策
下記BODを2026(1438)年度までに維持もしくは達成を目指します。
大堀川:2.6mg/L以下を維持 利根運河:3mg/L以下を達成 坂川:1.8~1.9mg/L以下を維持

基本方針B 生物多様性の持続可能な利用

- 市内の緑化
1年間で500本以上の植樹を目指します。
- 連続した緑の創出
開発の事前協議において、事業者にグリーンチェーン認定制度を周知します。
- 谷津環境の保全・再生
保全団体等と手法を検討し、整備します。
- 近隣大学との連携
東京理科大学の理恵会記念自然公園の保全について連携します。

基本方針C 環境教育・環境学習機会の創出

- 生物多様性関連イベントを実施
毎年1回以上実施します。

基本方針D 基盤情報の整備・充実

- 生物多様性情報コーナー（仮称）
公共施設の情報コーナーの設置を検討します。
- GISやインターネットを利用した生物多様性情報の公開
GISやインターネットを利用した生物多様性情報の整備を検討します。

1. ふるまぎ里山ミュージアム構想の再説明

グリーンインフラとしての効果

(1) 市民の憩いの場の提供



(2) 子どもたちが自然に触れあえる場の提供



(3) 市民のボランティア活動の場の提供



(4) 市民の健康維持・医療費削減・地域の活性化



(5) 生物多様性の維持・回復

(6) 災害に対するレジリエンスの強化



(7) 地球環境への負荷低減



(8) 流山の長期的な資産価値の維持向上



サシバ
謎境省・絶滅危惧種II類)



ニホンアカガエル
(千葉県最重要保護生物
Aランク)



ヘイケボタル

1. ふるまぎ里山ミュージアム構想の再説明

アクションプラン～里山を子供たちに残すために～

(1) 水田耕作の保全と回復

- ① 農家への支援
- ② 市民による水田耕作への参加支援

(2) 湧水と湿地の保全と回復

- ① 湧水と湿地の調査・整備
- ② 病院計画における湿地環境の保全

(3) 雑木林の維持・保全

- ① 市民の森制度の活用
- ② みどりのボランティアの養成
- ③ サシバの営巣する森の保全

(4) 里山の生き物の調査・保全活動

- ① 生物多様性モニタリング調査
- ② 希少生物生息地の保全



ハンゲショウが群生する湿地環境



サシバ

2. その後の進捗状況

① 9月流山市議会での陳情の経緯と結果

- ・2024年10月芝生業者による休耕田の埋立が開始された。
第1期～第3期(約2ha)
- ・2025年9月、流山市議会に農業委員会による芝生圃場の許可をしないように求める陳情
- ・陳情の結果、賛成1、反対22、棄権4で陳情は不採択
反対した議員のうち大部分の見解は、行政計画に基づいて古間木・野々下の自然環境を保全することには賛成だが、地権者の埋立をしたいという意思は尊重というもの。

2. その後の進捗状況

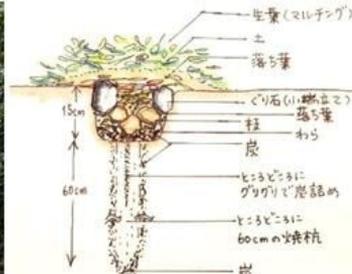
② 野々下の雑木林での活動を開始(マイモリ) Social Green Projects in NAGAREYAMA

マイモリプロジェクト通信

里山で土の中の改善を学ぼう！WS⑤
Social Green Projects in NAGAREYAMA

11月8日は、第5回のマイモリプロジェクト。大人10名、子供5名の合計15名が参加してくださいました。今回は9時半WSからスタート。森の環境改善における大きな流れとして1STEP進み、これまでの4回のWSで改善してきた、シンボルツリー周りの土の中の環境を、周辺に波及していく段階に入りました。

▶ヨコミゾ【横溝】シンボルツリーから、10mほど離れたところにあるクヌギの木(ナラ枯れ未病状態)に向かって、深さ15cmほどの溝を作って繋ぎました。



▶「踏圧」の影響>>> 原則「ノリカタ【法肩】は踏まない！」を学ぶ

先ほど掘ったばかりの土を埋め戻すときに、もう締め固められていたことから、人の踏圧の影響が実感されました。踏圧対策として、バケツリレーで物を運びました。



▶花咲か爺さんならぬ、炭撒きオチサン登場♥

竹炭と燻炭を真っ黒になりながらまぜては、撒いて、混ぜては撒いて、、、、隙間たっぷりの炭を人の通り道に撒くことで、踏圧の影響を和らげます。炭づくりも手分けしてやってみました！



2. その後の進捗状況

マイモリプロジェクト通信

里山で土の中の改善を学ぼう！WS⑥
Social Green Projects in NAGAREYAMA

12月13日は、第6回のマイモリプロジェクト。大人23名、子供5名の合計26名が参加してくださいました。午前中のWS（講師：環境再生医箕輪直明）参加者は21名。有難いことに、本日も快晴★ 人数が多かったので、大掛かりなものに挑戦！ナラ枯れ対策をしたい2本の木を結ぶような形で、渦巻き状の横溝🌀を制作しました。

▶用語解説

初めての方向けの大事な言葉！



▶メモを取って学んでいる方も！



▶横溝掘り

シンボルツリー（マイモリのヘソ）から、近くのナラ枯れ予備軍の2本の木に向かって、土の状態を確認しながら幅20cm深さ15cmほどの溝で繋ぎました。渦巻き状の水路のようでした。

<掘るフェーズ>



しっとりめの状態のいい土は、砂っぽくて崩れやすい土に比べて、垂直な壁を作りやすいんだね！



<埋めていくフェーズ>



ハプニング発生！！

なんと手順を1つ飛ばして、埋め戻しを始めてしまいました🌀。

それでも、ベテラン参加者の皆さんのフォローと皆さんのご協力でリカバー🌟
👏👏👏 感謝ですっ★

2. その後の進捗状況

③ 野々下の休耕田の復活に向けての動き

- ・田んぼの耕作を希望するボランティア・グループが現れる。
 - ・クラウド・ファンディングで資金調達
 - ・SNSでボランティア募集
- ・休耕田の地権者に紹介。

2. その後の進捗状況

④ 井崎市長との面談

- ・現地における基礎調査⇒ みどりの課より説明

4. 湧水と湿地保全の提案

①ニホンアカガエルの生息する湧水

②ハイケボタルの生息する湧水

4. 湧水と湿地保全の提案

湧水・湿地回復事業候補地

野々下 (一)

